

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

大障教 新転任者歓迎教研

2024年度大障教新転任者歓迎教研が、4月26日(金) アネックスパル法田坂にて開催されました。講師は、つながりあそびうた研究所の「ぴかりん」こと二本松はじめさんと「まっちゃん」こと町田浩志さんでした。コロナ禍ではなかなか取り組めなかったつながりあそびやうたなど、久しぶりにみんなで集まって楽しむことができました。大障教の実技講座としては実に6年ぶりで、21名の参加で盛り上がりました。

つながってあそぼう！

さっそくつながりあそびからスタート。2人組になり、自己紹介をしてから「せんたく」のつながりあそびをしました。歌



「まっちゃん」こと町田浩志さん

折り紙をつかってあそぼう！

折り紙を折ったりちぎったりして竹とんぼのような形を作り、放り投げるとプロペラが回るように回転しながら落ちていきました。続いては長方形に切った折り紙の四方を少し折り曲げ、折り紙の真ん中に人さし指をあて、歩いたり走ったりして風車のように回してみることも挑

戦しました。ただの折り紙が風車のように回るともみんな大興奮！ぴかりんがとても上手に回す姿に、「自分も回してみたい！」と夢中になって何度も挑戦していた先生たち。誰かが回せると拍手喝さいが起こり、まるで子どもに戻ったかのように楽しんでいました。

昔なつかしのあそびを少しアレンジして…



「ぴかりん」こと二本松はじめさん

『たるまさんがころんだ』や『猛獣狩り』を少しアレンジしてあそびました。「たるまさんがころんだ」で前に進むところを「ダルビッシュ」と言われるとみんな動き出してしまい、何度もスタート地点に戻っていました(笑)。『猛獣狩り』は

つながるって楽しいな



司会の青年部堀内さん

コロナ禍以降、つながり合うことが制限されていたので、今



「ダ、ダ、、、ダルビッシュ！」
何度も引っかけてみんな必死！

回のつながりあそび・うたの実技講座は新鮮だったのではないのでしょうか。“子どもたちの前に、まずは先生自身が楽しさを体験してみよう”ということを実際に体験することができた実技講座でした。

参加者の感想

- 本当に楽しかったです。様々なことに気づかされました。
- 子どもの気持ちになって参加できました。童心にかえることも子どもとの関わりをしていく上で大切だなと強く思い知りました。
- 明日から使える引き出しの作り方、とてもタメになりました。最後まで心からたのしもうと気合を入れて来たので、その気持ちが消化されて、とても気が晴れました。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

書記局の つじじゅ

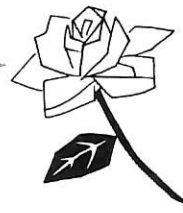
先月28日の東京15区、島根1区、長崎3区
の衆院3補欠選挙は、野党の完勝。自民党の金権
腐敗に対する無反省への厳しい審判を下す結果と
なりました。同時に、補完勢力である日本維新の
会にも有権者の厳しい審判が下されました。

5月1日には、第95回メーデーが全国230
カ所以上で開催されました。企業献金で裏金をた
め込み、財界・大企業優先で日本を異常なまでに
「賃金が上がらない国」にした自民党政治を終わ
らせ、労働者・国民の要求を実現できる政治に転
換させようの声を大きく広げる時です。

雨の中、東京・代々木公園の中央メーデーで、
激励のあいさつに立った東京大学の本田由紀教授
は、「日本はあらゆるところに問題が山積みです。
著しい円安や物価高、それに賃上げが追いつかな
いことで、人々の暮らしはどんどん厳しくなって
います。根底には戦後長い期間、日本社会を牛耳つ
てきた自民党の政策運営のやり方、べつたりと癒
着してきた財界の振る舞いがあります。私たちは、
もつと怒る必要があります。」と語られました。

大阪・関西万博の運営を巡る、吉村知事の「赤
字が出た場合、大阪府・市で負担する」という考え
方があると思ふ」との無責任な発言に批判が殺到。
野党気取りの維新の会の政策の根底は自民党政治
の焼き直ししかありません。能登半島地震から
4カ月が経過してもがれきが片付かない被災地の
現状を含め、私たち労働者・国民の要求と政治と
の隔たりは広がる一方です。

私たちの生活と生命を存続させるための正しい
仕組み、正しい法律、正しいルール、働き方を実
現するために、連帯して怒りの声と要求を突き上
げることは、政治を転換する力となります。



あせらず、自分のスピードでいい

北河内ブロック新歓教研「そっだー先輩に聞こう!」

4月20日(土)ラポールひらかたにて、北河内ブロック分会(交野支援、四條畷校、寝屋川支援、枚方支援、守口支援、光陽支援、思齊支援)合同での新歓教研「そっだー先輩に聞こう!」を行いました。7分会から23名が参加しました。初任の先生方から見て「ちよつと先輩の先生から経験談を聞き、参加者それぞれから感想や質問、不安に思っていることなどを出し合いました。全員が発言して和やかな雰囲気となりました。



分会をこえて参加者みんなで交流しました

まずは、初任3年目の先生からお話を聞きました。初任の頃は何をすればいいかわからず、保護者との関係も不安だったこと、その中で学年の先生に「子どもへの対応は正解が一つではないので、自分がやりやすい方法でやればいい」と言われ、相談してよかったと思ったこと、どうすれば子どものためになるかを一緒に考え、一人ひとりの成長を喜び合える教員集団の中で学んできたことなどを話されました。どんなに忙しくて大変なときでも子どもがかわいいと



今のやりがいと生き生きと語る発表者

思える、バス発後の打合せで子どものことを共有できるのが、勉強であるとともに貴重で幸せな時間、というお話に、参加者はみな笑顔になりました。

続けて、初任8年目の先生からお話を聞きました。初任から4年勤務したのち、長期研修制度を利用して、大学院で教育心理やメンタルヘルスについて学んだ経験が話されました。自分は人と比べてできないと悩んでいたこと、いったん職場を離れて学ぶことで自分を俯瞰できるようになり、仕事以外にも楽しめるようになったこと、職場に戻ってからも身近な同僚に話を聞いてもらう中で、「こんな自分でも教員として働いていいんだ」と思えるようになったことを話されました。最後に初任の先生方へ「ゆつくりとそれぞれのスピードで成長するので焦らなくてもいい、完璧な人もいるかもしれないがみんながそうである必要はない」と、メッセージを送りました。

参加者からは、「先輩も初任の頃は私と同じ気持ちだったとわかって安心した」「初めての今の職場が楽しい。がんばりたい」「楽しい職場はみんなの努力で作上げてきたもの。これからもそうあり続けることができるように、力を合わせていってほしい」「初任の方が、『何がわからないかもわからず、質問できなかった』と言ったのを聞いて、年齢の近い先輩としてこちら



色んな先生がいるからいいと、後輩にメッセージ

から話しかけてみようと思おう」など、初任者からベテランまでお互いに意見を交わしました。後半は権利学習や大障教の紹介、北河内の学校建設運動の歴史についても触れました。職場における同僚性や働きやすい職場環境についても、あらためてみんなで考える機会となりました。「同期や先輩との交流ができてよかった」「休暇制度や手当てのことなど、聞きたいけれど聞きづらいことを知れてよかった」などの感想が寄せられ、今年も充実した教研でした。



一人ひとりが大事にされる社会へ 大阪メーデー



5月1日、第95回メーデーが河内公園で開かれ、冷たい雨の中でしたが、約2千人が参加しました。

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」のスローガンが

書かれた横断幕や参加者のそれぞれの要求が書かれた手作りのプラカードなどが掲げられました。菅義偉実行委員長(大阪労連議長)は、裏金疑惑や大企業優遇など暮らし・平和を踏みにじる岸田政権と、万博カジノに突進し住民切り捨ての維新政治を批判し、万博カジノを中止してリソースは能登支援と府民生活にと呼びかけました。

集会後は、「賃金の大幅引き上げを」「均等待遇、格差是正を」「万博・カジノより府民のいのちと暮らし優先の府政を」など、参加者でコールをしながら、デモ行進をしました。

(表面からのつづき)

大障教 新転任者歓迎教研 参加者の感想

○ハサミやのりなど他の道具を使わずに折り紙1枚だけであれだけ遊べたのがとても印象的でした!他の折り紙遊びも知りたいと思いました。

○今後、子どもたちと関わる中で、活かせるような取り組みをたくさん見つけることができました。

○とってものしかったです!ぜひ学校で実践したいと思います。



童心に戻ってあそびを楽しむ参加者